

法人(事業所)理念		教育の力により、一人ひとりの可能性を最大限支援することによって、共生社会の実現に貢献します			
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> 子どもが主体的に課題に取り組めるよう、子ども自身の力を信じ、思いに寄り添った関わりをもつ。 社会生活に必要な力を育むために、一人ひとりに合わせた課題をスモールステップで設定し、成功体験に繋げる。 地域や関連機関と密接に連携し、子どもとその家族に最適な支援を検討し、提供を行う。 			
営業時間		11時0分から	20時0分まで	送迎実施の有無	あり なし
支援内容					
支援方法		個別課題		集団・小集団課題	
本人支援	健康・生活	生活スキルとしての清潔の維持や身だしなみ管理の課題 生活スキル獲得のための食具の操作や道具操作などの課題 心と身体が疲れたときの対処法を知る課題		危険個所の理解や災害時等に関する避難訓練の実施 自立した生活を送るための買い物学習 身だしなみや清潔保持に関する知識習得のための活動	
	運動・感覚	指導員の動きや他者の行動の理解と模倣(指・身体の動き)の課題 活動時や課題実施時の姿勢保持の課題 視空間認知の発達や目と手の協調性ためのビジョントレーニング課題		指先の感覚や操作に関わる活動(粘土、紙やぶき、箱の中身はなんだろう?等) 模倣や体幹、粗大運動に関わる活動(体操、ダンス、ボール運動等) 指先の操作や巧緻性のための微細運動(製作等)	
	認知・行動	金銭の概念や計算についての理解に関わる課題 時計や数量についての理解に関わる課題 金銭の概念や計算についての理解に関わる課題		金銭の理解に関わる活動(お買い物練習、金額当てクイズ等) 興味・関心の幅を広げるための活動(これってなんだ?、好きな物どれた?等) 記憶保持に関わる活動(覚えて真似っこ、神経衰弱、山手線ゲーム等)	
	言語・コミュニケーション	文字や文章の読み書きの理解のための課題 コミュニケーションスキルの獲得・向上のための(指差し、身振り、サイン等)の課題 人との相互作用によるコミュニケーションとしての1対1での関わり課題		口頭での指示理解や説明内容の理解のための活動(スリーヒントクイズ、メモをとってみよう) 人との相互理解のコミュニケーション活動(他児・指導員に関するO×クイズ等) 文字やイラストを用いたコミュニケーションの活動(かるた、絵しりとり等)	
	人間関係・社会性	生活場面で必要な場面理解や他者の感情理解の課題(SST) 適切な距離感や丁寧な言葉への理解に関する課題 集団への参加や集団での指示理解のための課題		社会性の向上のための活動(SST、ルールを守って協力ゲーム等) 自己理解・他者理解のための活動(自己紹介をしてみよう、気持ちの良い言い方・伝え方、クッション言葉、アサーション等) 複数の利用者同士の適切な関わりを理解のための活動(貸し借り、勝ち負けのあるゲーム等)	
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 保護者のみならず、家族全体と本児の関係性に加えて、家庭での困りごとについて整理をし、実際の様子を家庭訪問や口頭で共有を行う事で、その都度有効な対応を検討し、提案していく。 保護者との面談や支援内容の共有の時間を通して、発達段階における基本対応や特性に関する基本情報の提供を行い、家庭で可能な適切な対応に関して助言を行う。 		移行支援	<ul style="list-style-type: none"> 当事業所で作成の個別支援計画を他機関と共有し、課題として取り組んでいることを日常で実践できるように支取り組むことで、利用者に対する支援の統一を図る。 将来を見据えた利用者の現在の課題を他機関と共有し、自立のために出来ることを増やす支援を行う。
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 各種関係機関で役割分担を行うと共に、それぞれの機関で得られた情報を共有することで、日常的な生活や支援に活用するための具体策を提案する。 各機関での対応や様子を確認し、日常生活でその対応を活かせるように保護者を含めて連携していく。 		職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 経過年数別の階層別療育研修・組織人研修、虐待防止研修、感染症対策防止研修等の実施。 心理士等専門家を交えたミーティング、事例検討の定期実施。
主な行事等		避難訓練(火事、地震、水害、防犯等)、課外活動(マクドナルドへお買い物、灘浜サイエンススクエアへ行こう等)、調理活動(パフェ作り、かき氷)、保護者会、ハローウィンパーティー、クリスマス会、その他			